

# 一般質問

## 市民クラブ

### 教育

本市独自の家事・育児教育の充実

**問** 育児休業を取得したものの家事・育児をしない「取るだけ育休」を防ぐため、将来取得する可能性のある子どもたちに対して、本市独自の家事・育児教育に取り組む考えはないか。

**答** 家庭の役割分担に関する学習については、小学校の家庭科や中学校の技術・家庭科を中心として、関連する内容を「特別の教科 道徳」や特別活動、社会科などで扱っており、習得した知識や技能を生かし、道徳的な判断力や心情、実践意欲と態度を働かせながら、よりよい家庭生活を考え、実践する力を身につけさせるよう指導している。これらの取組を通して、男女が協力して、温かい家庭を築いていくことの大切さについての学びを深めており、引き続き、学習指導要領にのっとり、家事・育児教育に取り組んでいく。

### 福祉

高齢者(要介護者)の選挙権の保障

**問** 高齢者のうち、投票所まで行くことが困難な要介護者への取組について伺いたい。

**答** 要介護者の投票は、公職選挙法で要介護状態区分が要介護5に該当する方が郵便等投票証明書の交付を受ければ郵便等による不在者投票ができる。また、要介護者の方が入院や入所をしている場合、施設が投票所として一定の要件を満たし、県の指定を受けている場合にも不在者投票ができることとなっており、施設名は郵便等投票による不在者投票等の情報も含め、常時市のホームページで周知している。

なお、郵便等による不在者投票については、本市を含め多くの自治体において、対象者を拡大すべきと考えているため、全国市区選挙管理委員会連合会において制度改正の要望を毎年国に行っている。

今後投票率の向上につながるよう積極的な周知等に努めていく。



## 自民創生

### 防災

備蓄品の管理と運搬

**問** 災害備蓄品のほとんどが建物の2階以上に保管されているため、搬出に多くの人手が必要となっている。保管から運搬まで民間事業者に委託する考えはないか。

**答** 備蓄品の運搬については、大手物流事業者との災害連携協定に基づき、民間事業者と連携して実施している。

備蓄品の保管と管理については、市有施設を有効活用する考えのもと現在は市直営で行っており、建設中の新市庁舎等にも備蓄スペースを確保するようになっている。民間事業者への委託については、委託

した場合の業務の質の向上、業務量の削減、委託費用等を精査し、判断したい。

今後、管理や運搬により適したスペースの確保に努め、物資搬送訓練等の実施により、配送事業者等との連携の強化に努めていく。



### まちづくり

まちぶらプロジェクトの実績と10周年イベント

**問** 令和4年度に事業開始から10年となるため、地域の活性化を図る機会として認定事業者が連携するイベントを実施してはどうか。

**答** まちぶらプロジェクトは、新大工から浜町、大浦までを5つのエリアに分け、にぎわいの再生を図ることを目的として、平成25年度から取り組んできた。これまでまちなかのにぎわいにつながる市民活動をまちぶらプロジェクト事業として認定するなど、地域住民主体の取組を支援してきた結果、コロナ禍以前においては、まちなかエリアの歩行者通行量が上昇傾向に転じるとともに、まちぶらプロジェクト認定事業も増えてきたところである。

イベントの実施については、認定事業者が連携するきっかけとなり、より多くの方々になかへの関心を持つってもらう機会にもなることから、地域とも協議し実施に向け検討していく。



▲まちぶらプロジェクトの一例(浜んまち Machi Piano)

概要

一般質問

令和2年度決算  
議決結果

令和2年度決算  
審査の主な内容

11月定例会  
議決結果

11月定例会  
審査の主な内容

令和3年の  
長崎市議会

人事、請願等